

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/  
18・8・19(日)  
南NEWS no 48

## 5年生むさしのリーグ

2018/8/11(土) 府中少年サッカー場

結果 ① vs 富士見ヶ丘(公式戦) 0vs2 負(前半 0vs0)

② vs YN キッカーズ(公式戦)

4vs2 勝(前半 0vs2)

得点 = ユウカさん、セイジュン君、  
ワヘイ君(A ユウカさん)、  
5年レオン君



③ vs プリメイロス(TM) 3vs4 負(前半 1vs2)

得点 = 4年レオン君、ユウカさん、アイル君

《試合のめあて》 コーチング 技を使う 数的優位  
※本当はめあてなしの試合でした。グラウンドに着いたら、最初に自分たちはどんな試合をするのかとみんな  
で話し合っめあてを決めるようにしてください。

《試合の様相》

① 残り2試合に全勝すれば優勝の可能性もあった公式戦では、残念ながら富士見ヶ丘に惜敗しました。

前半は拮抗した勝負で、今までの対戦で惨敗だった相手にも決して引けを取りません。しかし後半では暑さの影響か、守備陣の連携不足から中盤で相手にミドルを打たれ失点、その後攻めで奪われてからの中盤の戻りが遅く、またしてもミドルシュートで2失点目を喫してしまいます。

密集しての囲い込み、攻めから守りへの切り替えも出ず、なかなかリズムに乗れないままタイムアップです。

② 前半はやはり暑さのせいか、個人技もあまり出せないまま、単調な攻めが続き、2失点してしまいます。

ところがスロースターターながら後半早々、ユウカさんが左サイドから強烈なシュート、セイジュン君得意のドリブル駆け上がりシュートを決め同点すると、怒涛のゴールラッシュです。

右サイドからのクロスがユウカさんが潰れ役でこぼれたボールをワヘイ君が決めて逆転、トドメは PK エリアギリギリでアイル君が受けたファールの FK を、5年レオン君が豪快に決めました。ハーフタイム前後で別チームの如く、見事な逆転劇でした。

③ 前半に4年レオン君が中盤カットから自ら持ち込んで先制、その後ユウカさんがこの日2点目のゲット、3点目はアイル君が混戦から押し込みゴールです。

終盤守備陣のお見合いで失点してしまい負けてしまいましたが、JAに向けて頼もしい助っ人4年生が大活躍した試合でした。

《試合でできた技・トライした技》

インサイドフック = シュンセイ君、ミツキ君、モカさん

アウトサイドフック = シュンセイ君、シオン君、ミツキ君

ライトアングル = トウイ君 クライフターン = トウイ君

椅子の形 = シズクさん マッシューズ = ワヘイ君

V字 = カンナ、シズク

ダブルダッチ = シュンセイ君、セイジュン君、ワヘイ君、ミツキ君

トウイ君、シズクさん

ビッグブリッジ = セイジュン君 シザース = セイジュン君、ワヘイ君

《コーチ所見》

南の失点のほとんどは、セットプレーでのマークと、中盤でのアプローチの遅さから打たれるミドルレンジからのシュートブロックの甘さ、連携不足によるミスによるものです。逆に得点できた後の怒涛の勢いは素晴らしい！JAまでに課題を克服して、完成度を高めましょう。

この日久々の5年生全員参加で、今年度の新キャプテンを全員で投票し、セイジュン君とシズクさんに決まりました。残りの約7ヶ月、皆んなで支え合って、いいチームにしようね。

by 田邊コーチ

2018・7・6 朝日朝刊

## ドリブラーの力 試合運びの鍵に



■決勝トーナメント(日時は日本時間)

ウルグアイ	6日 23:00
フランス	11日 3:00
ブラジル	7日 3:00
ベルギー	16日 0:00
ロシア	8日 3:00
クロアチア	12日 3:00
スウェーデン	7日 23:00
イングランド	

(3位決定戦は14日23時)

サッカーにおいて、ドリブルは華があるプレーだ。1人がずっとボールを持っているから、観客の視線も集まる。DFをかわしてシュートを決めれば、ゴールはより華やかになる。パスとは違う魅力がある。準々決勝に勝ち上がったチームにも、魅力的なドリブラーがいる。

その視点で見ても、ブラジル-ベルギーは注目だ。しなやかさがあるブラジルFWネイマール、力強いドリブルをするベルギーMFのE・アザール。共通点は、ゆっくりな速度から急にギアを上げて速くするというスピードのメリハリを付けるのがうまいことだ。

決勝トーナメント(T)1回戦でベルギー

に敗れた日本も、FWルカクは無得点に抑えられたが、E・アザールのドリブルは止められなかった。同点にされたゴールは、E・アザールがドリブルで日本選手をかわして上げたクロスからだった。

ネイマールが、決勝T1回戦のメキシコ戦で挙げたゴールもドリブルからだった。数人をひきつけて守備のバランスを崩したところでヒールパスし、折り返しのパスを決めた。

フランスには、19歳のFWエムバペがいる。今大会、対戦相手にとっては一番怖い選手と言えるのではないかと。たとえ3人で止められても、スピードあるドリブルで突破するポテンシャルを持っている。

8強に残ったチームは、どれもバランスが整っている。ドリブルの一番の魅力は、いくら守備の組織を整えても、1人で局面を開けることだ。私も現役の頃はそうだったように、ドリブルが武器の選手は前面にそれを押し出していく。ドリブラーがどれだけ力を発揮できるかも、試合の行方を決める鍵になりそうだ。

(元日本代表)

